

平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年2月15日

会社名 明豊ファシリティワークス株式会社
(URL <http://www.meiho.co.jp/>)

(JASDAQ・コード番号：1717)

問合せ先 代表者役職名 代表取締役社長
氏名 坂田 明
責任者役職名 取締役経営企画部長
氏名 大島 和男

TEL：(03) 5211-0066

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・税金費用の計算等については簡便な方法を採用しております。
 ・その他影響額が僅少なものについても一部簡便な方法を採用しております。
- ②最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	4,476	(16.6)	122	(△44.4)	115	(△46.8)	69	(△51.7)
17年3月期第3四半期	3,839	(△11.1)	219	(94.7)	216	(99.7)	144	(131.7)
(参考)17年3月期	5,866		351		351		206	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	5 64	5 46
17年3月期第3四半期	24 97	21 93
(参考)17年3月期	35 21	32 72

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。
 2. 平成17年9月20付で株式分割(1:2)を行っております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国の経済は、原油価格の高騰、為替相場の変動等によって企業業績の明暗が分かれるものの、設備投資や雇用情勢の改善等、各種指標は全般的に上向きで、緩やかな景気回復が続いております。

このような状況の中、当社は認知度向上等によって、受注面において前年同期を15.9%上回る状況であり、またプロジェクトの大型化と同時にプロジェクト完了までの期間が長期化する傾向にあることから、プロジェクトの完了が来期以降となるものが前年同期より40.0%増加しております。これらの結果、当社の第3四半期の業績は、売上高4,476,845千円(前年同期比16.6%増)、営業利益122,155千円(前年同期比44.4%減)、経常利益115,350千円(前年同期比46.8%減)、四半期純利益69,615千円(前年同期比51.7%減)という結果となりました。

当第3四半期中における売上高をプロジェクトの内容別に見ますと、オフィス移転プロジェクトが2,110,974千円(前年同期比8.5%増)でありましたが、前第3四半期中に完了した大型のオフィス統廃合プロジェクトが当第3四半期中になかったこと等から、オフィス統廃合プロジェクトは13,805千円(前年同期比93.2%減)に留まりました。

また、当第3四半期までの売上高をサービス形態別に見ますと、フィーのみを売上計上するピュアCM(コンストラクションマネジメント。以下同じ)方式が631,468千円(前年同期比16.1%減)、アットリスクCM方式が2,545,526千円(前年同期比24.1%増)となり、当社が目指すフィービジネスでの売上高は、前年同期比で13.3%増加いたしました。これは、顧客のCM方式そのものへの理解が深まり、フィーのみとなるピュアCM方式にこだわることなく、一括請負契約の利便性の中で調達価格をオープンにし、マネジメントフィーと現場監理費を当社が収受するアットリスクCM方式の選択が増えたものと考えられます。

これらの結果、当第3四半期における売上総利益は637,564千円（前年同期比14.2%減）となりました。

販売費及び一般管理費として表示する社内経費は前年同期とほぼ同水準となっており、第3四半期中に完了を迎えたプロジェクトの減少が経常利益の減少となっております。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	2,496	1,534	61.5	124 04
17年3月期第3四半期	2,304	1,458	63.3	237 27
(参考)17年3月期	2,831	1,520	53.7	247 41

(注) 1. 平成17年9月20付で株式分割(1:2)を行っております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	△368	△12	△50	1,238
17年3月期第3四半期	△224	△31	47	1,283
(参考)17年3月期	167	△34	47	1,671

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

①当第3四半期財政状態の変動状況

財政状態は、資産の部が2,496,988千円（前事業年度末比334,801千円減少）、負債の部が962,223千円（前事業年度末比348,886千円減少）、資本の部が1,534,765千円（前事業年度末比14,084千円増加）となりました。

②当第3四半期キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ432,536千円減少し1,238,824千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の営業活動の結果使用した資金は、368,979千円となりました。主な要因は、税引前四半期純利益119,553千円に対して売上債権の増加26,554千円、未成工事支出金の増加33,989千円、仕入債務の減少238,040千円、法人税等の支払166,379千円の資金減少要因が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の投資活動の結果使用した資金は、12,801千円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出6,147千円、投資有価証券の取得による支出5,100千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の財務活動の結果使用した資金は、50,755千円となりました。主な要因は、配当金の支払55,904千円によるものであります。

3. 平成18年3月期の業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	5,600	210	125

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 10円10銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」とおり修正を行っております。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

○添付資料

(要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書、(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(添付資料)

1. (要約) 四半期貸借対照表

区分	当第3四半期 (平成17年12月31日現在)	前第3四半期 (平成16年12月31日現在)	増減		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成17年3月31日現在)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金預金	1,238,824	1,283,149	△44,325	△3.5	1,671,360
2. 売上債権	738,410	602,489	135,921	22.6	711,855
3. 未成工事支出金	129,558	63,619	65,939	103.6	95,568
4. 前払費用	39,179	29,809	9,369	31.4	26,262
5. その他	63,840	50,622	13,217	26.1	48,492
貸倒引当金	△5,219	△6,137	918	△15.0	△3,521
流動資産合計	2,204,593	2,023,553	181,039	8.9	2,550,019
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物	15,137	16,868	△1,731	△10.3	15,913
(2) 工具器具・備品	12,602	12,986	△383	△3.0	11,540
有形固定資産合計	27,740	29,854	△2,114	△7.1	27,453
2. 無形固定資産					
(1) ソフトウェア	17,695	21,912	△4,217	△19.2	20,260
(2) その他	1,428	1,428	—	0.0	1,428
無形固定資産合計	19,123	23,341	△4,217	△18.1	21,689
3. 投資その他の資産					
(1) 長期前払費用	47,202	43,488	3,713	8.5	43,103
(2) 敷金	53,160	53,106	54	0.1	53,160
(3) その他	145,168	131,341	13,826	10.5	136,364
投資その他の資産合計	245,530	227,936	17,594	7.7	232,627
固定資産合計	292,394	281,132	11,261	4.0	281,770
資産合計	2,496,988	2,304,686	192,301	8.3	2,831,789

区分	当第3四半期 (平成17年12月31日現在)	前第3四半期 (平成16年12月31日現在)	増減		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成17年3月31日現在)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率(%)	金額(千円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 工事未払金	577,364	459,550	117,813	25.6	809,504
2. 未払費用	50,364	62,933	△12,569	△20.0	36,526
3. 賞与引当金	33,270	37,500	△4,230	△11.3	81,880
4. 未成工事受入金	37,722	29,957	7,764	25.9	43,750
5. その他	56,784	74,709	△17,925	△24.0	154,687
流動負債合計	755,505	664,651	90,853	13.7	1,126,348
II 固定負債					
1. 退職給付引当金	76,261	59,168	17,092	28.9	59,566
2. 役員退職慰労引当金	130,456	116,652	13,804	11.8	121,316
3. その他	—	6,172	△6,172	—	3,878
固定負債合計	206,717	181,993	24,724	13.6	184,760
負債合計	962,223	846,645	115,578	13.7	1,311,109
(資本の部)					
I 資本金	522,532	519,450	3,082	0.6	519,525
II 資本剰余金	329,008	325,939	3,069	0.9	326,015
III 利益剰余金	683,290	612,652	70,637	11.5	675,139
IV その他有価証券評価差額金	△65	—	△65	—	—
資本合計	1,534,765	1,458,041	76,723	5.3	1,520,680
負債資本合計	2,496,988	2,304,686	192,301	8.3	2,831,789

2. (要約) 四半期損益計算書

区分	当第3四半期 (平成17年12月31日現在)	前第3四半期 (平成16年12月31日現在)	増減		前事業年度の 要約損益計算書 (平成17年3月31日現在)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
I 売上高	4,476,845	3,839,720	637,125	16.6	5,866,217
II 売上原価	3,839,281	3,096,369	742,912	24.0	4,878,723
売上総利益	637,564	743,350	△105,786	△14.2	987,493
III 販売費及び 一般管理費	515,408	523,841	△8,432	△1.6	635,702
営業利益	122,155	219,509	△97,353	△44.4	351,791
IV 営業外収益	4,356	3,086	1,269	41.1	7,081
V 営業外費用	11,162	5,704	5,458	95.7	7,860
経常利益	115,350	216,892	△101,541	△46.8	351,013
VI 特別利益	4,203	—	4,203	—	—
VII 特別損失	—	—	—	—	1,156
税引前四半期 (当期) 純利益	119,553	216,892	△97,338	△44.9	349,856
税金費用	49,937	72,665	△22,727	△31.3	143,142
四半期 (当期) 純利益	69,615	144,227	△74,611	△51.7	206,714
前期繰越利益	302,987	156,229	146,758	93.9	156,229
四半期 (当期) 未処分利益	372,603	300,456	72,147	24.0	362,943

3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	当第3四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	前第3四半期 (自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日)	前事業年度の 要約キャッシュ・フロー計算書 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	119,553	216,892	349,856
減価償却費	10,365	9,653	14,007
貸倒引当金の増減額(減少:△)	1,698	△6,895	△9,511
賞与引当金の増減額(減少:△)	△48,610	△30,094	14,286
退職給付引当金の増減額(減少:△)	16,695	12,123	12,520
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	9,140	4,777	9,441
受取利息及び受取配当金	△307	△279	△475
支払利息	4,990	5,504	7,660
売上債権の増減額(増加:△)	△26,554	355,825	246,458
未成工事支出金の増減額(増加:△)	△33,989	79,627	47,678
仕入債務の増減額(減少:△)	△238,040	△613,060	△255,104
未成工事受入金の増減額(減少:△)	△6,028	△95,694	△81,902
その他	△6,700	9,043	△13,514
小計	△197,788	△52,576	341,401
利息及び配当金の受取額	179	353	256
利息の支払額	△4,990	△4,188	△5,893
法人税等の支払額	△166,379	△167,623	△168,647
営業活動による キャッシュ・フロー	△368,979	△224,035	167,116

	当第3四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	前第3四半期 (自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日)	前事業年度の 要約キャッシュ・フロー計算書 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
II 投資活動による キャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△6,147	△219	△1,651
無形固定資産の取得による支出	△1,864	△382	△1,264
役員保険契約による支出	△6,205	△6,444	△6,833
役員保険契約解約による収入	6,516	—	—
投資事業有限責任組合への 出資による支出	—	△25,000	△25,000
投資有価証券の取得による支出	△5,100	—	—
その他	—	660	606
投資活動による キャッシュ・フロー	△12,801	△31,386	△34,143
III 財務活動による キャッシュ・フロー			
配当金の支払額	△55,904	△39,570	△39,036
増資による収入	6,000	87,769	87,050
その他	△851	△200	△200
財務活動による キャッシュ・フロー	△50,755	47,999	47,813
IV 現金及び現金同等物に係る 換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の 増加額(減少:△)	△432,536	△207,423	180,787
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	1,671,360	1,490,573	1,490,573
VII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	1,238,824	1,283,149	1,671,360